

「秩父市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）（案）」についてのパブリックコメント結果の公表

「秩父市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）（案）」について、令和3年10月15日から令和3年11月15日まで市ホームページ等を通じてご意見を募集したところ、1人から3件のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見の概要とご意見に対する秩父市の考えについて、以下のとおり取りまとめましたので公表します。ご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 意見募集の概要

(1) 意見募集期間

令和3年10月15日（金）から令和3年11月15日（月）まで

(2) 案の公表方法

- ・市ホームページへの掲載（告知記事は市報ちちぶにも掲載）
- ・地域政策課、吉田・大滝・荒川各総合支所（市民福祉課）で閲覧

(3) 意見の提出方法

文書による提出（地域政策課・各総合支所・何でも投書箱）、FAXまたは電子メールによる提出

2 意見の募集結果

(1) 意見提出者 1人（電子メール1人）

(2) 意見件数 3件

「秩父市過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）（案）」に対するパブリックコメント募集結果

No.	ご意見（要約）	ご意見に対する秩父市の考え
1	<p>大滝地域の人口目標について、減少を年 20～30 人、増加を年 0～5 人、令和 7 年度の人口目標を 510 人としているが、16・20 ページの統計によると、令和元年東日本台風の影響もあってか近年の人口減少が著しく、令和 2 年 3 月 31 日時点の住民基本台帳人口は 524 人になっている。目標値のうち、人口減少が最も緩やかなパターンでも年 15 人の減少を見込んでおり、これによれば令和 7 年の人口は 450 人程度で、目標人口の 510 人は実現困難である。直近の住民基本台帳人口に基づいて、目標人口を再検討する必要があると思われる。</p>	<p>近年の大滝地域の人口減少は著しく、ご意見いただいたように維持していくのは容易ではありません。一方、今回の計画は過疎地域の持続的発展を目指すものであり、目標ということにより積極的な数値を設定しております。計画中の対策や事業計画を通し、持続的発展を目指していきたいと考えておりますので、今回は原案のとおりとさせていただきます。</p>
2	<p>対策として、太田部地区での観光客向けの案内板等の整備が挙げられているが、同地区の場合、地理的には神流湖周辺からのアクセスがメインになるため、当市のみではなく、藤岡市・神川町・神流町とも協力のうえでの案内板等の整備が望ましいと考える。</p>	<p>ご意見いただいたとおり、地理的には他市町と接した地域になります。他自治体に及ぶ内容になりますので、計画には反映しませんが、検討課題とさせていただきます。</p>
3	<p>三峯神社等を中心とする観光が大滝地域での雇用の確保と人口の維持に一定寄与している反面、かつて頻発していたように渋滞が国道 140 号にまで及ぶ状況では住民の生活の利便性を大きく低下させ、人口減少を加速させることにもつながりかねない。「白い気守」の頒布休止後、渋滞は緩和しているようだが、新型コロナウイルスの流行終息後などに渋滞が悪化する可能性も懸念される。39 ページで対策として挙げられている三峰駐車場の渋滞対策のみならず、以前のような大規模な混雑が予想される場合には県道秩父多摩甲斐国立公園三峰線への観光客の自家用車の乗り入れを禁止できるようにするなど、必要に応じて強力な対策を実施できるように検討を進めることが望ましいと考える。</p>	<p>ご意見をいただいたとおり、三峯神社等を訪れる多くの観光客に駐車場を利用いただいております。今後の渋滞対策について関係機関との調整を行うなど検討課題とさせていただきます。</p>